

回生 ニュース

K a i s e i N e w s

社会医療法人 峰和会

74号

2014.1月発行

発行/社会医療法人 峰和会
編集/鈴鹿回生病院
所在地/鈴鹿市国府町112番地1
TEL/059-375-1212
FAX/059-375-1717
URL/http://www.kaiseihp.com
編集協力/TCKnagoya



社会医療法人 峰和会
理事長 長谷川 静生

迎春

あけましておめでとうございます。

発表される経済指標によると世の中の景気が少しずつ上向いてきているようです。政府の広報を全て鵜呑みにするわけにはいかないでしょうが、少なくとも現政権になってからこれまで動かなかった政治経済が回り始めたようです。我々に関係の深い医療制度の改革も社会保障制度改革と消費税増税とのセットで決まりそうです。早速今春には医療法、介護保険法改正法案が上程されます。そして4月の診療報酬改定の内容もそれを見据えたものとなるのではないかと思います。国民の負担増と引き換えの改革ですから是非とも良い形に落ち着いて欲しいものです。

平成22年度に社会医療法人の認可を受け3年目となる本年はまた次期中期3年計画のスタートに当たる年でもあります。地域の中核病院であるという自覚を再確認して自分たちの立ち位置を見つめ直す意義ある年になろうかと思います。第一次中期5ヵ年計画でやり残した課題を整理しさらに飛躍する一年にしていきたいと考えています。ここ数年3・0テスラ MRI を始め血管撮影装置、2台目1・5テスラ MRI 等々大型医療機器の更新が続いていますが、今後も医療の質を維持するためには機器の更新は継続していかなければならない案件でありましょう。また政府国民会議の言う一般病床の機能分化、在宅医療との関わりを考える上で、

我々も中期3年計画ではグループ施設の再編も視野に入れていく必要があると思っています。

「誰もが、好きなところで、同じ負担で」受けられる現在の医療から「必要な時、適切な場所で、最小の費用で」受ける医療への変化の時代がやがてやって来ます。変革の時代、医療は最後に信頼に行き着きます。「あの病院へ行きたい」と言っていただければ地域から信頼される病院をめざしてこの一年邁進して参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成
26
年

両院長より新年のご挨拶

必要とされる病院をめざして

新年明けましておめでとうございます。

今年も鈴鹿回生病院は、地域の基幹病院としての役割をしっかりと果たすこと、急性期医療をさらに充実させること、また高度な専門的医療を発展させることを3本の柱としてまいります。今、日本は、世界に類を見ない高齢化社会に向かっていますので、これから医療や介護の形態も大きく変わると予想されています。様々な地域での連携が重要になると思われますので、私達もこれまで以上に取り組んで行かなければならないと考えています。

昨年度は、三重県がん診療連携推進病院としてID Linkを整備しました。これは、三重大学やがん診療連携拠点病院などとの間で連携して、患者さんの投薬内容や検査データ、またCTやMRI画像などの医療情報を閲覧出来るシステムです。これらの当院の情報はかかりつけ医の先生にも利用していただけるものですので、検査や薬が二重になったりすることも防ぐことができます。また、1.5テスラの最新鋭MRIを更新しましたので、当院では3.0テスラMRIに加えて最新鋭のMRIが2台体制となりました。このように、先進医療を行えるようにこれからも整備して行きたいと思っています。今、大規模災害の備えも万全にしなければなりません。そのため、今回新たに「災害医療支援病院」への指定に向けて手上げをしました。また、災害マニュアルも、新しく作りかえているところですので、でき上がりましたら、大規模災害を想定して訓練を行いたいと思います。また、4月からは新たに6名の初期研修医が来てくれます。若い医師が集まってきてくれることは大変嬉しいことです。救急の現場や入院病棟などで活躍いたしますのでよろしくお願いいたします。これからも良い医療が提供できますように、スタッフが一丸となって日頃からますます研鑽してまいります。



鈴鹿回生病院
院長
田中 公

模範災害の備えも万全にしなければなりません。そのため、今回新たに「災害医療支援病院」への指定に向けて手上げをしました。また、災害マニュアルも、新しく作りかえているところですので、でき上がりましたら、大規模災害を想定して訓練を行いたいと思います。また、4月からは新たに6名の初期研修医が来てくれます。若い医師が集まってきてくれることは大変嬉しいことです。救急の現場や入院病棟などで活躍いたしますのでよろしくお願いいたします。これからも良い医療が提供できますように、スタッフが一丸となって日頃からますます研鑽してまいります。

精神誠意努めてまいります

今年も昨年に引き続き外部業者に委託して外来患者さんの満足度調査を行いました。昨年同様平均を上回る結果にうれしく思っております。懸案の待ち時間については、残念ながら満足はいただけませんでした。

待ち時間の短縮には、努力しても改善しないむずかしい問題があります。それは、わたしたちは患者さんのお話に十分耳を傾け、さまざまな説明をします。患者さんからの質問にもお答えしなければなりません。そうすると診察と話し合いで一人ひとりの患者さんに費やす時間は長くなりがちです。これを短縮してしまつては「待った甲斐がなかった」ということに繋がりますので、これを削るわけにはいきません。そこが待ち時間短縮のむずかしい点です。「病気を診ずして病人を診よ」という言葉があります。この意味は病気だけを診るのではなく、患者さんを病に悩む人間として診よ、という意味です。そのためには、患者さんのひととなり、過去から現在の家族や社会環境などを含めて診る必要があるという教えです。現在の医療界では電子カルテが導入され、画面に集中して患者を見ないと言われがちです。私自身は患者さんを診察室にお呼びする前に電子カルテの内容を確認し、入室していた



鈴鹿回生病院附属クリニック
院長
坂倉 康夫

だいてからは患者さんと真直ぐに向き合うよう心がけています。これもまた時間のかかることなんですね。ですが「病気を診ずして病人を診る」の精神で、患者さんには待った甲斐があったと思っていただける診療を、誠心誠意努めて参りたいと思います。また、当クリニックの目玉でもある特殊外来の充実です。特殊外来は病院とクリニックの中間的役割を担います。一般外来以上の密度の高い診療を行いますのでさらに充実していきたいと考えております。

今年も、どうぞよろしくお願いいたします。

連携医療機関紹介

とら整形クリニック



▲ 院長の田中 秀虎先生

とらのマークが目印です。

とら整形は亀山市役所より東に約400m弘法院さん北側にあります。「とら」のマークのついた看板が目印です。



院長の田中秀虎先生は、昭和62年（1987年）三重大学医学部をご卒業、三重大学放射線科へ入局し9年間放射線科医として研鑽を積まれました。ところがふと思うことがあり、ある時から転科を考えるようになりました。診察から診断、治療して完治という一連の流れを見届けたいという強い思い、そして元々興味があった整形外科の分野を極めようと、意を決して平成8年（1996年）名古屋大学整形外科へ入局されたのです。9年間放射線科医として勤めてきても、整形外科医としては素人。当時は研修医のように働いたそうです。国立療養所中部病院（現国立長寿医療センター）や昭和病院（現江南厚生病院）などの医療機

関にて整形外科医として勤務されました。そして平成19年（2007年）この地に開業されたのです。

クリニック名の由来

小学生の頃、自衛官だったご尊父さまに「うちの家系には医者がない。お前医者になれ!」と言われたという先生。当時は医者なんて!と思っておられたそうですが、ブラックジャックを読んでから、彼のような医師になりたいと思うようになったといいます。「彼は、何でも診て治すんです。法外な額の報酬と引き換えに難手術を成功させるのですが、相手を見て『お金は要らない』と言ったりする心の優しい部分のある天才外科医でしたので、自分も外科系に進みたいと思いました。でも私は口下手だったので放射線科を選んだんですね」。口下手で人見知りな昔からおっしゃる先生。「それは私の秀虎という名前が原因です。今でこそ変わった名前が沢山ありますが、当時はそれは珍しい名前でした。自己紹介すれば笑われていたんですよ」と当時を振り返りながらほほえむ先生。「とら」という愛称で呼ばれていた先生は、クリニックの名を「とら整形クリニック」にされました。ご自身のお名前、そして寅年という繋がりもあるそうです。ロゴマークに入っている「とら」のモチーフも先生のお考えです。

少し、遠回りをされましたが、とら整形クリニックとして現在、先生を筆頭に7人体制で診療しています。



DATA

TEL 0595-84-1700

住所

亀山市江ヶ室二丁目4-21

診療科目

●整形外科 ●リハビリテーション科
●リウマチ科

診療時間

午前／9時00分～12時00分

午後／3時00分～6時30分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	△	×

土曜日の午後は 3:00～5:00 ですが、休診にしている時があります。電話で確認をとっていただくと確実です。

休診日

木曜午後、日曜、祝日



患者さんへのメッセージ

～何でも気軽に相談して欲しいですね。現在は整形外科専門ではありますが、元放射線医師ですから、特に画像系は詳しく説明させていただいております。「こんなに詳しく説明を受けたのは初めてです」とおっしゃってくださいます。さまざまな検査も行っておりますので、的確な診断ができると思います。仮に当院で対応できない疾患があれば、鈴鹿回生病院さんや鈴鹿中央総合病院さんのような大きな病院にも紹介させていただきます。～
今後もますますのご活躍を期待しています。

患者さんから
手作りの贈り物 ▶





リハビリテーション課
理学療法士
佐久間雅久

腰痛の種類はさまざまですが、特にからだを前に倒した時、後ろに反らした時、その両方で症状が出る場合の大きく3つに分けられます。その腰痛のタイプによって、原因疾患も異なりますので、正確な診断は整形外科の受診をお勧めいたします。今回は、からだを後ろに反らした時に腰痛が出る方のストレッチ方法をご紹介します。

Step 1 >>



片方の膝を曲げて、もう片方の膝を伸ばします。両手をゆっくり前に伸ばし、体を前に倒していきましょう。

Step 2 >>



片方の膝を抱えて、膝を胸に近づけるようにして、お尻と腰部を伸ばします。ゆっくりと息を吐きながら10～15秒膝を抱えましょう。膝を抱えることができない方は太ももの後ろを持って行ってください。

Caution

- 腰痛が増強したり、下肢にしびれが出る場合は中止してください。
- このストレッチは、左右10～15秒を各3～5セット、実施してください。
- 筋肉を伸ばす時は息をゆっくり吐き、戻す時は息を吸うようにしましょう。

発信@ 栄養管理室

管理栄養士
岡本 弘平



海老 (エビ) ピックアップ食材



トムヤムクン風 雑 炊



●海老 (エビ)

エビは天ぷらやフライ、お寿司、煮物、焼き物などさまざまな調理方法があります。お正月のおせち料理では腰が曲がるまで丈夫という長寿の願いが込められた縁起物とされています。

エビにはアスタキサンチンという赤色の色素が多く含まれ強い抗酸化作用があり、特に尾や殻に多く含まれます。体の中で発生する有害な活性酸素から細胞を守り、動脈硬化や心筋梗塞などの生活習慣病を予防する働きが期待できます。抗酸化作用を発揮する際に自らが犠牲となりますが、ビタミンCがアスタキサンチンを再び働けるように再生してくれる作用があるので、野菜や果物と一緒にとるようにしましょう。今回はビタミンCが豊富な豆苗と組み合わせたメニューを紹介します。

材料 4人分

エビ(頭・殻つき)	1尾 30g×12
玉ねぎ	中 1/2 個
椎茸	2個
豆苗	1パック
ミニトマト	6個
にんにく	1片
唐辛子(乾)	適量
オリーブ油	大さじ1杯
塩	小さじ1/4
コショウ	適量
A 濃口醤油	大さじ1杯強
ナンプラー	小さじ2杯
ブイヨン	6g
水	1ℓ
ご飯	750g

- ①玉ねぎ、椎茸、にんにくをスライスに切る
- ②豆苗は食べやすい大きさに、ミニトマトは半分に切る
- ③鍋にオリーブ油を入れて火にかけ、にんにく、唐辛子、エビを炒める。
※エビの頭や皮を最初に剥いておく場合
頭や殻からのエキスを出すために、剥いてから食材と一緒に炒めて少し煮てから取り出す
- ④エビの色が変わってきたら玉ねぎと椎茸、トマトを加えさらに炒める
- ⑤ある程度火が通ったら水とAの調味料を加えて煮る
- ⑥最後に豆苗を加えて少し煮て、ご飯を加えて器に盛り付ける

栄養成分1人分

エネルギー	437kcal
たんぱく質	20.0g
脂質	5.2g
塩分	2.4g
食物繊維	2.5g

もの忘れドック

Medical examination

物忘れと認知症の違いについてご存知ですか？

年を重ねると誰でも少しずつ記憶力が下がります。これが物忘れです。もちろん病気ではありません。

次のことに心当たりはありませんか？

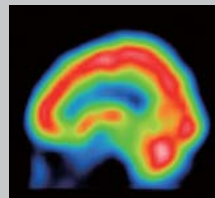
- 物の名前がすぐに出てこなくなった。
- 以前興味があったことや趣味に関心が持てなくなってきた。
- さっき聞いたことを繰り返し聞いてしまう。
- 物を置いたまま忘れたり、出した物をしまい忘れたりすることが増えた。
- 慣れた道でも迷うことがある。
- 些細なことで怒りっぽくなり、頑固になった。
- 新しいことが覚えられなくなった。

その症状、もしかしたら、認知症につながるかもしれません。

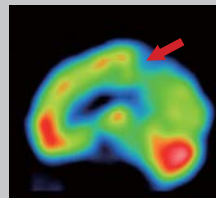
この認知症の前段階は**軽度認知障害 (MCI)**といい、物忘れの状態と非常に良く似ています。認知症は病気であり、早く治療を始めないと症状が進んでいきます。

当院のもの忘れドックでは、脳血流シンチ、MRI 検査、神経心理検査を行って MCI を発見し、早い段階で治療することで認知症の発症や進行を遅らせることを目的としています。

脳血流シンチグラフィ



正常画像



血流低下を認める

● 脳血流シンチとは

血液の流れを調べる検査です。MCI になると脳の機能も下がり、血流も減ります。これを利用して脳のどの部分の機能が悪いのかを調べる検査です。

● MRI 検査とは

脳の萎縮を調べたり、梗塞や腫瘍によって起こる認知症を調べることができます。

● 神経心理検査とは

簡単な質問に答えてもらいます。目で見えて覚える検査や、紙に絵を書く検査などを行います。

ちょっとしたもの忘れが気になる方、ご興味がある方は健康管理センターまでお問い合わせください。

心臓ペースメーカー・脳動脈クリップ・インプラント等がある場合は検査できません。



お問合せは



健康管理センター TEL : 059-375-1300 まで

い し そ つ う
医 志 蘇 通

C o l u m n

ご意見にお答えします。

Q 初診の際など、看護師の方からの質問が周りの人に筒抜けで、プライバシーがないように感じました。場所をもうちょっと考えてほしいです。

A ご意見ありがとうございます。患者さんへの対応で配慮が足らず申し訳ございませんでした。職員に対し患者さんへの対応を指導し、十分注意するようにいたします。

◆◆ お褒めの言葉をいただきました ◆◆

入院当初は不安もありましたが、看護師さんはじめ皆さん笑顔で接してくださったので、安心して入院生活を送ることができました。本当にありがとうございます。とても大変なお仕事だと思いますので、皆様どうかご自愛ください。

A お褒めの言葉有難うございます。このような言葉をこれからも沢山いただける様に笑顔を絶やさず患者さんが少しでも過ごし易い環境づくりに努めてまいります。

第5回 亀山市脳卒中 市民講座開催 ～亀山市文化会館にて～

11月10日(日) 亀山市文化会館にて第5回 亀山市脳卒中市民講座を開催しました。当日は大勢の市民の皆さんにご参加いただき、当院金丸副院長をはじめ3名の医師により脳卒中に関する講演を行いました。



鈴鹿少年野球教室

今年も鈴鹿少年野球教室が11月30日(土)に開催されました。19チーム約200名の子供達が参加。阪神タイガースOBの選手で作る「天地会」のメンバーの吉田義男元監督らによる指導を受け、真剣に取り組んでいました。



鈴鹿シティマラソン

12月15日(日) 第16回鈴鹿シティマラソンが鈴鹿サーキットにて行われました。当日は医科学相談コーナー、救護班を設置して当院から専門医師をはじめ多くのスタッフを派遣し走者のサポートを行いました。



第10回健康セミナーを開催しました。

11月23日(土)開催の健康セミナーでは、血液検査で見つかる肝機能異常、うつ～女性目線で見えたら～、また運動講話と実技、各測定コーナーで大盛況でした。皆さんのまたのご参加をお待ちしております！



日本整形外科スポーツ医学会 2012年度若手奨励論文賞を受賞

この度、当院で整形外科の診療を担当されている、三重大学 スポーツ整形外科学講座 講師の西村 明展先生が日本整形外科スポーツ医学会 2012 年度若手奨励論文賞を受賞されました。西村先生は、2013 年 9 月から 1 年間アメリカ インディアナ州インディアナ大学/パデュー大学 インディアナポリス校に留学中です。



ほっと smile クリスマスコンサート

12月14日(土)恒例のクリスマスコンサートを開催しました。職員によるハンドベル演奏、院内サークル「響」による三味線演奏や院内保育所「回生キッズ」のかわいい子供達によるダンスの披露がされました。また、今回はゲストコンサートとしてマリ フラメンコスタジオさんにご参加いただき、フラメンコダンスの披露が行われました。



編集後記

今回は「新年のごあいさつ」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。



病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。(病院玄関)

開設の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し医療の質を向上させます
- ▶ より安全で高度な医療を提供します
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます

鈴鹿回生病院 広報委員会

〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地1

TEL059-375-1212 mail:info@kaiseihp.com